

平成27年5月31日  
今週のベストショット



青松園B 三苦ホーネッツ 対 奈多フェニックス戦

強力フェニックス打線を完封で抑え込んだ矢野投手（左）と広木捕手（右）のホーネッツバッテリー。

（写真：三苦三球会 右山健太郎）

雁レクD 新町パイレーツ開幕三連勝！

レッドサンデーズ（2敗）00010 1 江口●ー荒口  
新町パイレーツ（3勝）00310x 4 吉田○ー桐島、大濱

HR：神田（レッド）

好投手レッド江口投手、パイレーツ吉田投手の投げ合いではじまったこの試合。二回までお互い0点が続いていたが、三回裏パイレーツの攻撃、二死から三連続四球で満塁として、六番大濱選手のセンター前2点タイムリーと七番山本選手のレフト線へのタイムリーヒットで3点を先制。レッドサンデーズも四回表、五番神田選手の左中間を抜くHRで1点を返すも、その裏、パイレーツはダメ押しの1点を加えて、開幕三連勝を飾った。

（記事、写真：奈多クラブ 木伏陽一郎）



今シーズン絶好調！開幕三連勝の吉田投手。



昨年の首位打者レッド江口投手とのエース対決。





この試合、安定感を欠いたレッド江口投手。



先制タイムリーヒット！パイレーツ六番大濱選手。



左中間へ見事な本塁打！レッド五番神田選手。



締まった試合を制したパイレーツナイン。



本日のヒーロー大濱選手（左）と三連勝の白岩新監督兼選手（右）。

**奈多グラウンド チャンスに確実に得点したウインズが勝利！**

雁ノ巣ライナーズ（2勝1敗）00020 2 有馬●ー鳥越

新町ウインズ （1勝1敗）11102x 5 藤田○ー今林

HR：藤田（新町ウ） 3BH：鳥越（雁ノ巣） 2BH：桐島、今林（新町ウ） 盗塁：永淵（新町ウ）



試合はウインズ藤田投手、ライナーズ有馬投手の先発で始まった。一回表ライナーズは、制球が定まらない藤田投手から一二番が四球で出塁するが後が続かず無得点。その裏ウインズは先頭永淵選手が四球で出塁すると三番今林選手がセンター前タイムリーで一点を先制。二回表ライナーズは先頭の国崎選手がセーフティバンドで出塁し二塁に進む。そこで八番有馬選手がセンター前に弾き返し同点かと思われたが、ウインズセンター桐島選手の好返球によりタッチアウト！同点にすることが出来なかった。二回裏ウインズは、三連続四球の後、二番安藤（一）選手が粘って四球を選び押し出しで一点を追加。三回表ライナーズは、相手エラー、宇野選手のセンター前ヒットと四球で二死満塁とし再び得点のチャンスとする。しかし、藤田投手が気合いの入った投球で続く打者を三振にとり得点することができなかった。その裏ウインズは四番藤田選手が内野安打で出塁すると続く桐島選手が上手くライト線に転がし無死二三塁とする。そして六番泉（圭）のセカンドゴロの間に三塁走者藤田選手があっという間にホームに返り更に1点を追加。四回表、ライナーズ先頭打者鳥越選手が藤田投手から鋭いライナーで左中間を破る三塁打を放つ。その後二死となったが一番明瀬（旭）選手が放った打球はライト前進でギリギリ捕れるかと思われたがグラブからこぼれ待望の1点が入る。そして、三番中口選手がセンター前ヒットで1点追加、四番宇野選手がサード強襲のヒットで二死満塁とライナーズの追い上げムードが高まった。五番久保田選手で一打逆転かと思われたが藤田投手が踏ん張りライトフライ。ライナーズは1点差まで詰め寄ったが、五回裏、ウインズ三番今林選手が二塁打で出塁すると四番藤田選手が右中間へ高々と上がるHRを放ち2点を追加、タイムオーバーゲームセットとなった。ウインズ安藤監督に今日のポイントを尋ねたところ、序盤、チャンスで確実に点を重ねることが出来たことが勝利につながったとのことだった。

（記事：三友クラブ 駄原孝一郎、写真：大坪和則）



ウインズ先発藤田投手。



ライナーズ先発有馬投手。



一回裏、先制のタイムリーを放つウインズ三番今林選手。



二回表、センター前ヒットを放つライナーズ八番有馬選手。





三回表、センター前ヒットを放つライナーズ四番宇野選手。



三回裏、チャンス拡大の二塁打でガッツポーズの桐島選手。



三回裏、桐島選手をタッチアウトにするライナーズ鳥越捕手。



四回表、中前タイムリーのライナーズ三番中田選手。



四回表、ホームに戻るライナーズ明瀬(旭)選手。



四回表、ボールがこぼれたウインズ永渕右翼手。



五回裏、HRの藤田選手を迎え入れるウインズベンチ。



投打に活躍のウインズ藤田選手。



## 青松園B 好投手同士の投手戦！

三苫ホーネッツ (1勝1敗0分) 1 0 0 0 0 0 1 2 矢野○ー広木

奈多フェニックス (1勝1敗1分) 0 0 0 0 0 0 0 0 今林(勇)●ー実延

3BH: 西藤(奈多フ) 2BH: 稲葉(三苫ホ) 盗塁: 山崎(三苫ホ)

初回、フェニックス先発今林勇太投手の立ち上がりを攻めたホーネッツ。二番稲葉選手がレフトへ二塁打を放つと三番矢野選手がセンター前にポトリと落ちるタイムリーヒットを放ち一点を先制。一方、フェニックス初回の攻撃は三番西藤選手がレフトへの三塁打を放ち同点のチャンスだったが矢野投手に抑えられ無得点。以降は両投手譲らずの投手戦。最終回、ホーネッツ山崎選手がライトにヒットを放つと続く稲葉選手がセンター前にポテンヒットで山崎選手がホームイン。2対0として七回裏フェニックス最後の攻撃へ。八番、九番、一番の連続安打で無死満塁とし、サヨナラの大チャンス！今日一番の山場を迎えたホーネッツ矢野投手だったが、続く二番松本選手を三振に押さえると三番西藤選手をライトフライに抑えツーアウト。そして四番実延選手をセンターフライに抑えゲームセット。矢野投手は毎回奪三振の八奪三振の好投！負けはしたもののフェニックス今林勇太投手も打たれたタイムリー全てポテンヒットと悔いが残るゲームだった。(記事、写真: 三苫三球会 右山健太郎)



完封で今季初勝利、ホーネッツ矢野投手。



フェニックス今林勇太投手。



先制タイムリーを放ったホーネッツ稲葉選手。



先制を決めハイタッチするホーネッツベンチ。



矢野投手(左)と広木捕手(右)のバッテリー。



## 青松園A 奈多サンデーズが危なげなく勝利を手に！

ソルトベイスターズ（2敗）0000020 2 中村(祐)●ー春田

奈多サンデーズ （3勝）110110× 4 塚本○ー土田

HR：田中(裕)（ソルト）鳥羽（奈多サ） 2BH：川上、塚本（奈多サ）

一回表、ソルトは二者連続三振に倒れるものの三番四番の連続ヒットでチャンスの拡大を図り二死満塁とするが、塚本投手の前に無得点。一回裏奈多サンデーズは一番川上選手がセンター前に弾き返し出塁すると相手四球や機動力を生かし効率良く1点を奪う。また二回裏には、鳥羽選手のライトを超える本塁打が飛び出し、一気にチームは大盛り上がり！その後も、四回と五回に七番塚本選手や八番鳥羽選手が本日2安打を放つなど1点ずつ加点し、試合のペースをものにする。しかし、ソルトもこのままではない。六回表中村(祐)選手がセンター前で出塁し、続く七番田中(裕)選手がレフト超えのツーランを放ち2点を奪い返す。しかも、田中(裕)選手は本日猛打賞。守備では森(惣)選手が幾度も強烈なライナーをさばく等、ベテランの活躍で締まったゲーム展開を演じた。終わってみれば、4対2で奈多サンデーズ塚本投手の完投勝利でゲームセットとなるが、両チームの引き締まった試合運びで七回フルインングの見応えのあるゲームだった。（記事・写真：三苦フレンズ 肥喜里一征）



完投勝利の奈多サンデーズ塚本投手。



ソルトベイスターズ先発中村(祐)投手。



二回表、センター前にはじき返す田中(裕)選手。



二回裏、ライトオーバーの本塁打を叩き出す鳥羽選手。



鳥羽選手の本塁打で大いに盛り上がるサンデーズベンチ。



二回裏、必死にセカンドゴロをさばく石井選手。





四回表、流れるような守備をこなす田中(孝)選手。



六回表、本日3安打となる2ランを放つ田中(裕)選手。



幾度となく強烈なライナーをさばいた森(惣)選手。



本日のヒーロー塚本投手(左)と鳥羽選手(右)。

## 第5週編集後記

WSLの皆さんコンニチハ!

第5週、5月31日は4試合が行われました。

雁レクDのレッドサンデーズ対新町パイレーツ戦は、どちらも主軸のレッド八島選手とパイレーツ桐島選手が所用で途中交代のため一番に座るオーダー。両投手共に毎回ランナーを背負いながら迎えた三回表、二死から三連続四球で得たチャンスにパイレーツ六番大濱選手がつまりながらもセンター前に2点タイムリーを放つと続く七番山本選手もワンバウンドでサードの頭を超えるタイムリー。レッドも久しぶりに出場した五番神田選手がソロHRを放つもこの1点のみ。白岩新監督率いるパイレーツが試合前の明るさそのままに三連勝。

奈多グラウンドの雁ノ巣ライナーズ対新町ウインズ戦は、一二回に無安打で2点を先制したウインズが三回に初ヒットの藤田選手が返り3-0。毎回壘を賑わせていたライナーズはようやく四回表に2点を取り追い上げムードとなったが、タイムアップが近づいた五回裏に四番藤田選手の2ランを喰らい万事休す。ライナーズも序盤に得点できていれば逆の展開もあり得たが、要所で三振が取れる藤田投手が打でも活躍した一戦だった。

青松園Bの三苦ホーネッツ対奈多フェニックス戦は、前の試合で完封負けを喫した昨年2位のホーネッツとしては落とせない一戦。初回到1点を先制したホーネッツだったが、フェニックス今林勇太投手も踏ん張り、0行進。七回表稲葉選手のタイムリーで待望の2点目を挙げたホーネッツは、最終回三連打で無死満塁のピンチを背負うも矢野投手が踏ん張り2-0の完封勝利。ホーネッツを上回る安打を放ったフェニックスだったが、あと一本が出なかった。

青松園Aのソルトベイズ対奈多サンデーズ戦は、初回から1点ずつ積み重ねていくサンデーズに対し、塁を賑わすものの得点に結びつかないソルト。4-0から迎えた六回表、田中（祐）投手が自ら2ランを放ち2点差とするもサンデーズ塚本投手に七回を抑えられ、2-4でサンデーズが開幕三連勝。サンデーズは一番川上選手、七番塚本選手、八番鳥羽選手が2安打ずつでチーム全安打を放った。特に毎回朝四時に武雄市からやってくる八番鳥羽選手に一発が飛び出し、盛り上がりを見せた。

本日6月6日はソフトバンクホークスの本拠地ヤフオクドームでAKB総選挙が行われます。連日テレビでも順位予想が行われていますね。

今年のWSLは、シーズン序盤から実力チーム同士が対戦し潰し合い、順位を予想するのが難しいですね。

その中でも確実に勝利している昨年覇者の奈多サンデーズに、新監督で活気のあるパイレーツ、新ユニフォーム2年目の三球会が好調です。

しかし、まだまだシーズンも始まったばかりで、AKB総選挙風に言えば速報順位が出たに過ぎません。

これからどんでん返しや大逆転があり得ますので、どのチームもWSLのセンター（頂点）を目指して、笑顔で顔晴して下さい。

「アイドル」という単語には、

皆さんが知っているAKBを始めとした芸能人のように崇め奉られる人という意味の「i d o l」があり、羨望の眼差しを集めます。

もう一つ、怠惰な、のらくらしている、試合がない、使用されていないという「i d l e」というものがあります。（車のアイドリング（idling）はこちら）

どちらの「アイドル」を目指すか？ それはあなた次第！

僕たちは戦っている

あなたの神スピーチを期待します！